

News Release



2025 年 5 月 21 日

2025 年度新入社員の意識調査の結果について ～「定年まで働きたい」が増加に転じる～

当社のグループ会社である NCB リサーチ&コンサルティング（代表取締役社長 井野 誠司）は、本日、「2025 年度新入社員の意識調査の結果について」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2025 年 5 月 21 日

各 位

株式会社 N C B リサーチ&コンサルティング

2025 年度新入社員の意識調査の結果について

～ 「定年まで働きたい」が増加に転じる ～

当社は、新入社員を対象とする公開セミナーと企業内研修を開催しています。このセミナー・研修では、参加者のご協力を得て、意識面に関するアンケートを実施しています。この度、本年 3・4 月開催の新入社員セミナー・研修の参加者を対象に実施したアンケートの結果をまとめましたのでお知らせします。入りたての新入社員の考えを知ることが、人財の獲得、育成、定着のための戦略策定の一助となれば幸いです。

ポイント

1. 就職活動が「とても大変だった」もしくは「大変だった」と答えた新入社員は、昨年の 74.5%から 78.3%に増え、調査開始以来最高となりました。就職活動の開始時期とコロナ禍の収束時期が重なり、リモートから対面への回帰が進んだことで、コミュニケーションに不安を感じた新入社員も多かったことがうかがえます。（3 頁 設問 1）
2. 大変な就職活動を乗り越えた甲斐あって、「希望どおり」の会社に就職できたと答えた新入社員は、昨年の 56.9%から 62.4%と、調査開始以来最高でした。就職先への満足度が高まった結果、「定年まで同じ会社で働きたい」は、調査開始以来最低だった昨年の 28.3%から 36.9%と大幅に増加。反対に、「独立・起業」もしくは「転職」を視野に入れている新入社員は調査開始以来最高だった昨年の 53.5%から 42.0%と大幅に減少しました。（4 頁 設問 4）
3. 転職サイトに「登録している」もしくは「1 年以内を目処に登録するつもり」と答えた新入社員は 8.3%でした。今回が初めての設問のため前年までとの比較ができないなか、これを就職先への満足度が高いことの表れととるべきか、入社直前もしくは直後の新入社員研修中の数字としては少なくないととるべきか、判断が分かれるところです。（5 頁 設問 5）
4. 将来のポジションとして管理職以上を希望した新入社員は、47.3%と 4 年ぶりに 50%を割り込みました。中でも「社長」「役員」の経営者層については、20.0%と調査開始以来最低でした（6 頁 設問 7）。また、「給料は少なくとも、残業がない方がよい」と答えた新入社員は 61.2%と、「残業は多くても、給料が多い方がよい」の 38.8%を大きく上回っています（7 頁 設問 9）。いずれも、ワークライフバランスを重視する傾向がみられます。

詳細は、3 頁以降をご覧ください。

【この調査結果に関するお問い合わせ先】

株式会社 N C B リサーチ&コンサルティング 調査部 担当：山下

〒812-0027 福岡市博多区下川端町 2 番 1 号 電話：092-282-2662

【調査概要】

1. 調査の目的

職業等に対する新入社員の意識を把握し若手社員育成の一助とする

2. 調査期間

2025 年 3 月 26 日～4 月 15 日

3. 調査対象

2025 年春の新入社員で、弊社の新入社員公開セミナーまたは企業内研修の参加者 1,375 名（179 社）のうち、アンケートの時間が取れなかった 4 社 82 名を除く 1,293 名

回答数：878 名 回答率：67.9%

開催地

公開セミナー（20 コース）：福岡市、北九州市、久留米市

企業内研修（14 コース）：福岡市、北九州市、別府市、下関市、福山市

4. 調査方法

Web または紙（スマホ持込み制限がある場合）アンケート

※2020 年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を優先し、2020 年度新入社員向けの 3・4 月の一般公開セミナーをすべて中止しましたので、本アンケートは実施しておりません。

弊社では、社員の皆さまの成長に役立つ様々なセミナーや研修を提供しております。また、人事制度などのご相談も承っておりますので、是非ご利用・ご相談ください。

本調査結果が、新入社員育成の一助となれば幸いです。

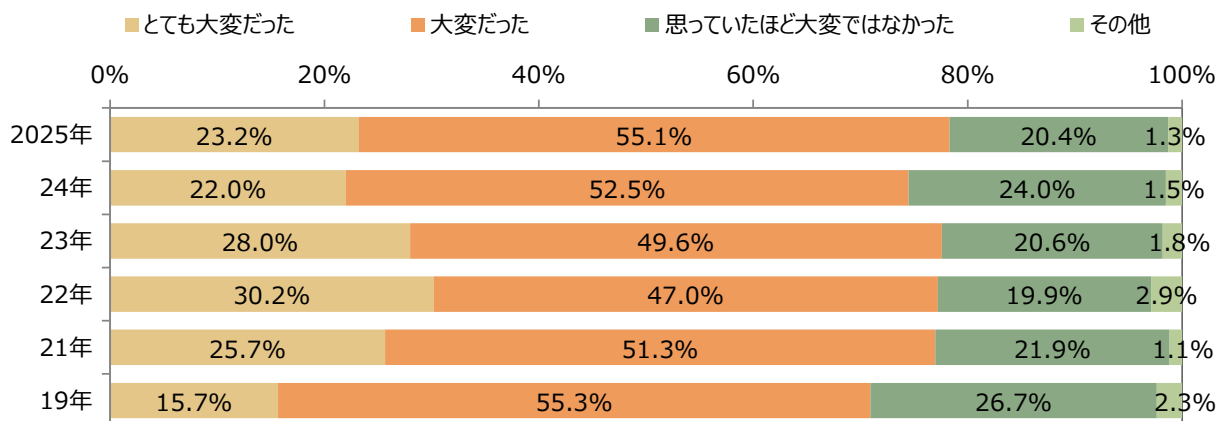
－ご利用に際して－

- ◇ 本資料は、アンケートに基づき作成しましたが、当社はその正確性を保証するものではありません。
- ◇ 本資料は、当社担当者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- ◇ 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。
- ◇ 本資料は、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、必ず出所：(株)NCB リサーチ&コンサルティングと明記してください。
- ◇ 本資料の全文または一部を転載・複製する際は当社の許諾が必要です。

【調査結果】

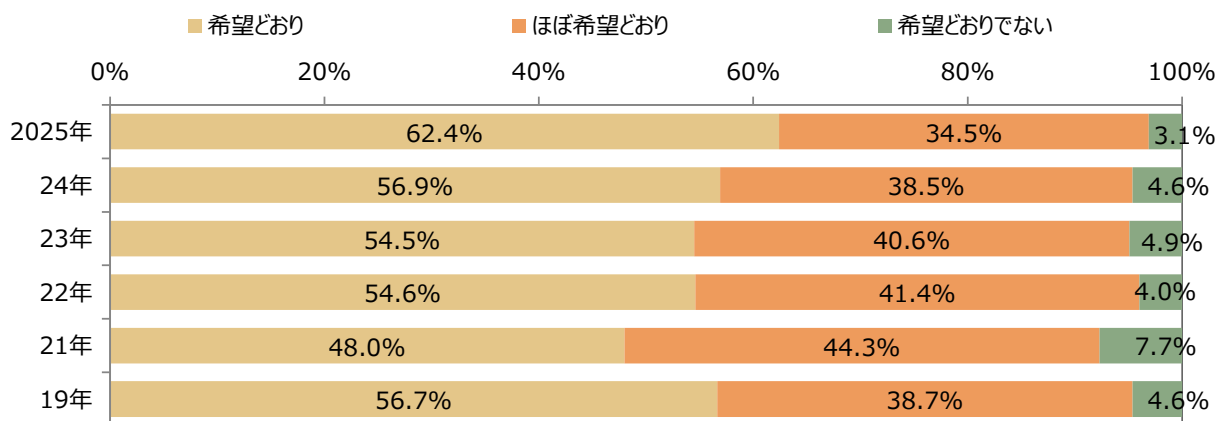
1. 就職活動の感想をお聞かせください（1つ選択）

就職活動が「とても大変だった」もしくは「大変だった」と答えた新入社員は、昨年の 74.5%から 78.3%に増え、調査開始以来最高となりました。就職活動の開始時期とコロナ禍の収束時期が重なり、リモートから対面への回帰が進んだことによって、コミュニケーションに不安を感じた新入社員も多かったことがうかがえます。



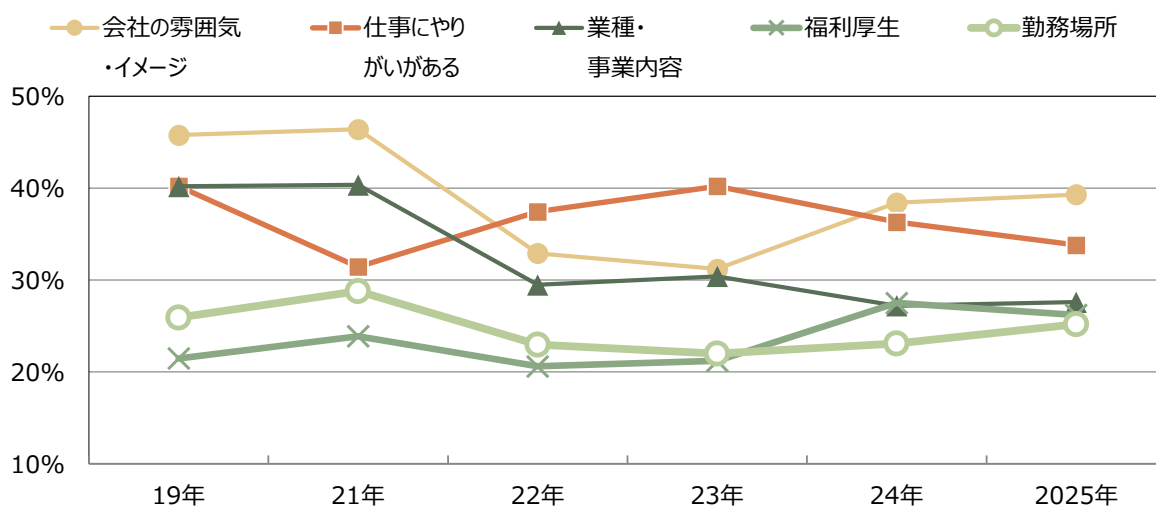
2. 希望していた会社に就職できましたか（1つ選択）

「希望どおり」の会社に就職できたと答えた新入社員は、昨年の 56.9%から 62.4%と、調査開始以来最高でした。就職活動の大変さは続いています、少子高齢化に伴う人手不足が続く中、初任給引き上げなどにより、就職先に対しては満足していることがうかがえます。



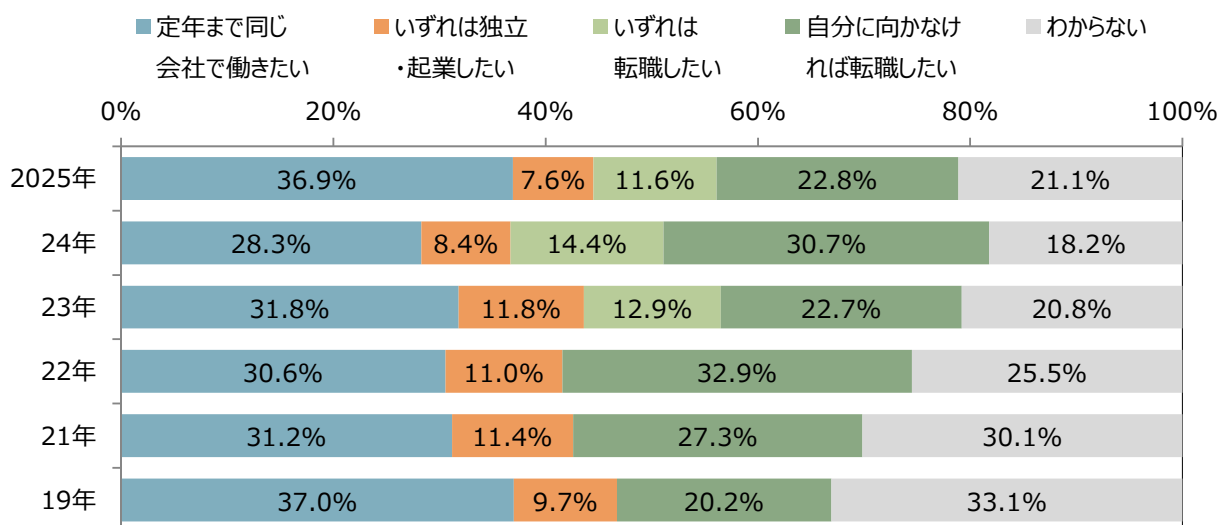
3. 就職先を決める時、重視したものは何ですか（3つまで）

「会社の雰囲気・イメージ」の割合が昨年よりも増加し、今回もトップとなりました。上位の項目に大きな変動はありませんでしたが、コロナ禍において一時割合が高かった「仕事にやりがいがある」は減少傾向が続き、反対に割合の低かった「勤務場所」についてはコロナ禍が収束し企業の出社回帰の動きに合わせて増加していると考えられます。



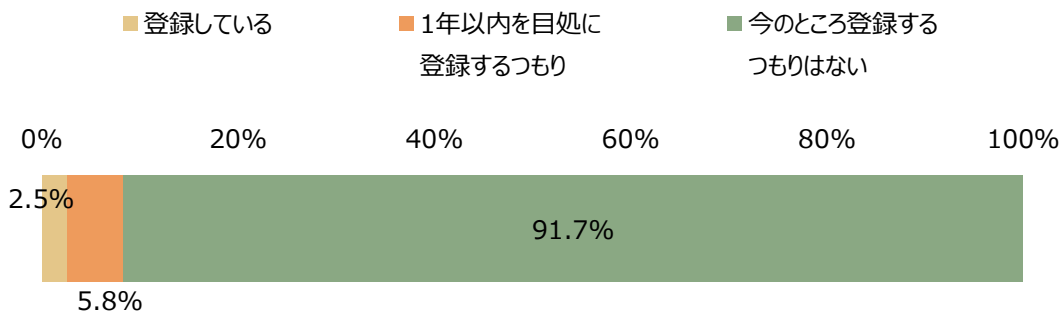
4. 就職した会社で定年まで働きたいと思いますか（1つ選択、2023年より一部選択肢を二つに分割）

「定年まで同じ会社で働きたい」は、調査開始以来最低だった昨年の 28.3%から 36.9%と大幅に増加しました。反対に、「独立・起業」もしくは「転職」を視野に入れている新入社員は調査開始以来最高だった昨年の 53.5%から 42.0%と大幅に減少しました。就職先への満足度が高まったこともあり、安定を求める傾向が反映されていると思われます。



5. 転職サイトには登録していますか（1つ選択）

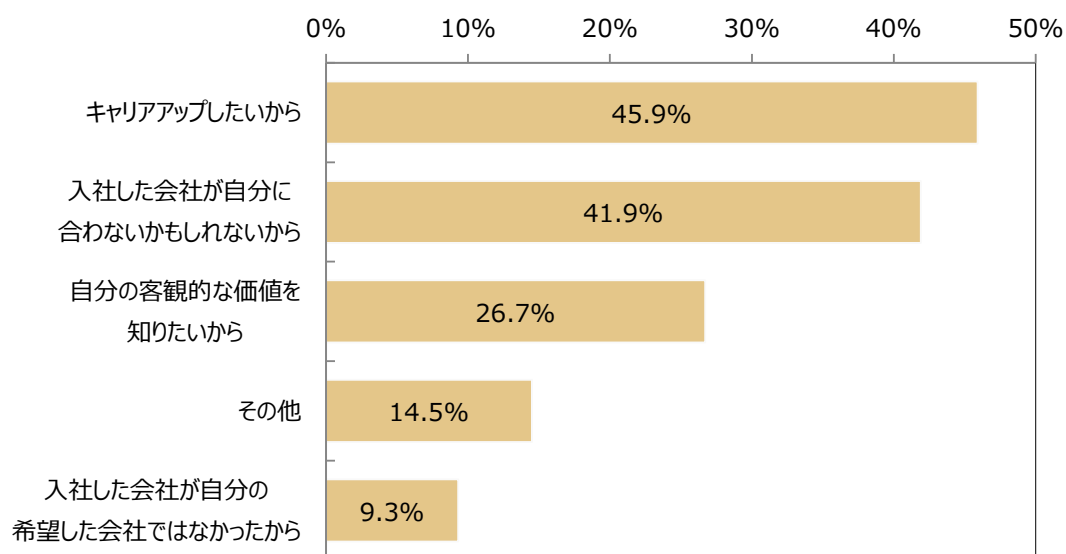
転職サイトに「登録している」もしくは「1年以内を目処に登録するつもり」と答えた新入社員は8.3%でした。今回が初めての設問のため前年までとの比較ができないなか、これを就職先への満足度が高いことの表れととるべきか、入社直前もしくは直後の新入社員研修中の数字としては少なくないとするべきか、判断が分かれるところです。



6. 転職サイトに登録した、または登録するつमりの理由は何ですか。（2つまで）

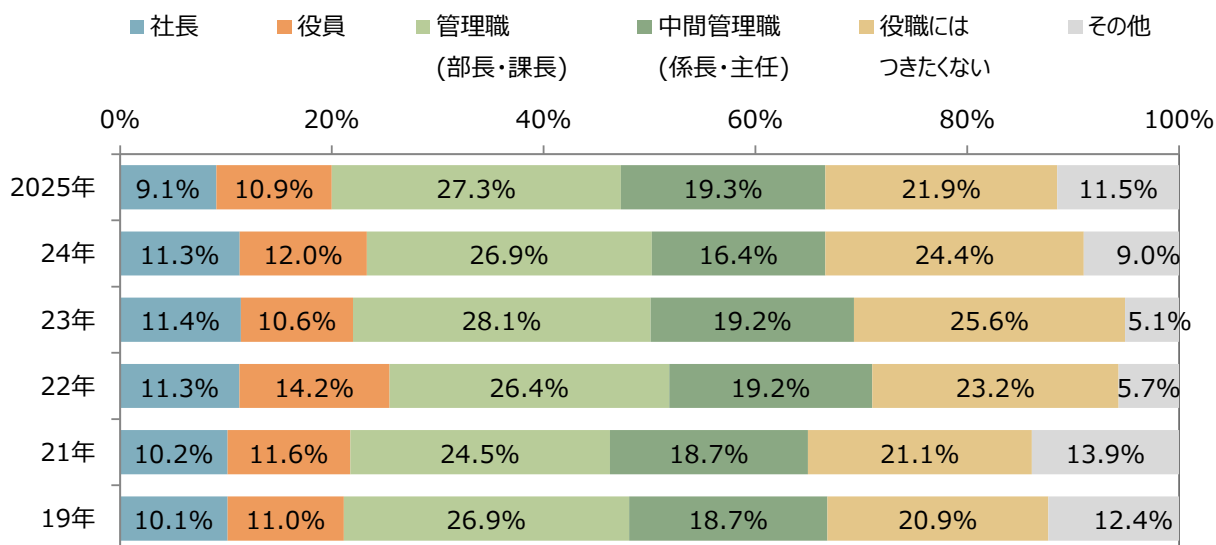
前問と同様で初めての質問となりますが、結果は「キャリアアップしたいから」「自分の客観的な価値を知りたいから」という積極的な理由によるものと「入社した会社が自分に合わないかもしれないから」「入社した会社が自分の希望した会社ではなかったから」という消極的な理由が同程度となりました。また、「その他」の中では結婚や体力など将来の自身の変化によるとの回答もみられました。

前問で転職サイトに「登録している」もしくは「1年以内を目処に登録するつもり」と答えた新入社員は72名でしたが、本問には172名が回答しました。「転職ネイティブ世代」と呼ばれることもあり、潜在的に転職を検討しているのかもしれない。



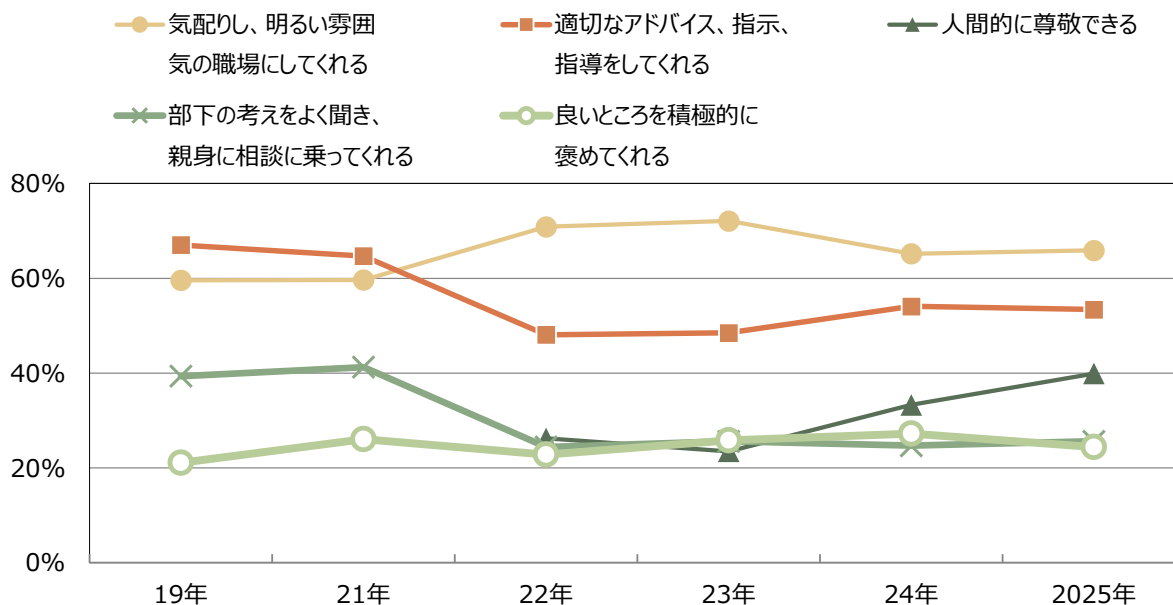
7. 将来、どのポジションに就きたいですか（1つ選択）

将来のポジションとして管理職以上を希望する割合は、47.3%と4年ぶりに50%を割り込みました。中でも「社長」「役員」の経営者層については20.0%と調査開始以来最低となりました。ワークライフバランスを重視する傾向がみられていると考えられます。「その他」では、業務の内容や会社の実情がわからないため「まだ、考えていない・わからない」との意見が多くみられました。また、「与えられたポジションで取り組む」など堅実な価値観を反映した回答もみられました。



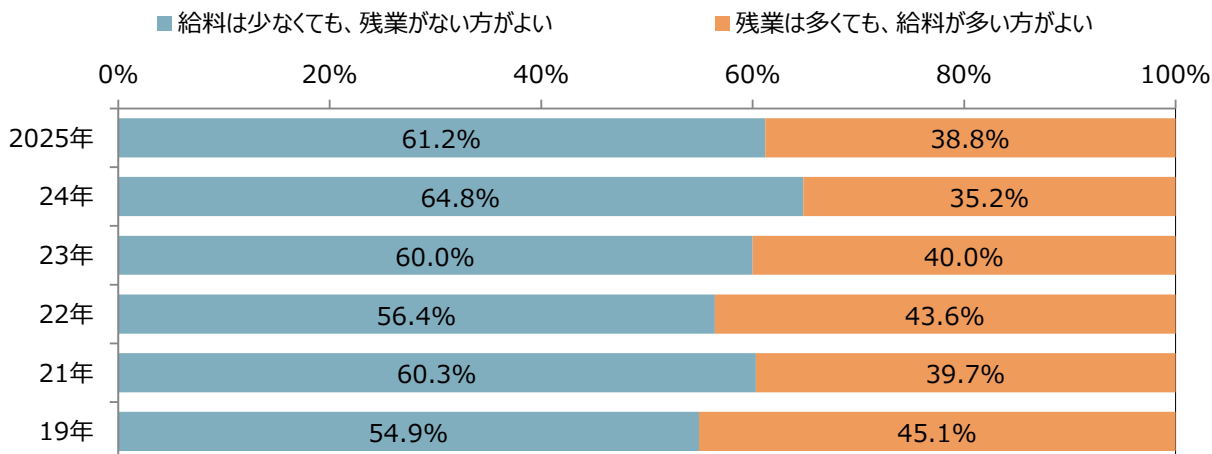
8. あなたにとって理想の上司に近いものはどれですか（3つまで選択）

上位の項目に変更はありませんが、「人間的に尊敬できる」が、ほかの項目がほぼ同程度で推移している中、昨年、今年と高い上昇率となっています。新入社員にとって、上司は長期間一緒に過ごす関係であり、業務上の接点に加えて、人間的に魅力があり尊敬できる人物であることが必要だと考えていると思われます。



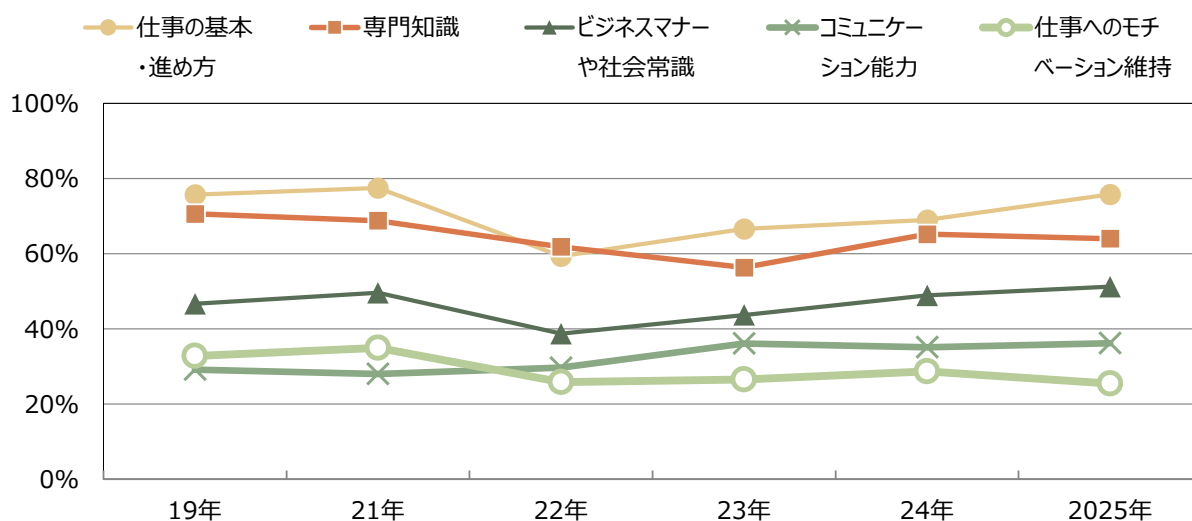
9. 給料と残業に対するあなたの考え方はどちらですか（1つ選択）

「給料は少なくとも、残業がない方がよい」と答えた新入社員は 61.2%と、「残業は多くても、給料が多い方がよい」の 38.8%を大きく上回っています。ワークライフバランスを重視する傾向は続いていますが、昨今の物価高の影響で実質賃金が伸び悩んでおり、「残業は多くても、給料が多い方がよい」が昨年の 35.2%から 38.8%に増加しました。



10. 入社後、指導・教育してもらいたいことは何ですか（3つまで選択）

「仕事の基本・進め方」、「専門知識」、「ビジネスマナーや社会常識」の順となっており、上位の項目は変わりませんが、業務に関するものよりも「仕事の基本・進め方」「ビジネスマナーや社会常識」「コミュニケーション能力」など、社会人としての基本事項に関する項目が上昇しています。このことはコロナ禍以降対面での対応が増えていることによる不安が大きいものと思われます。



11. 働く上で、あなたが重要と思うことは何ですか（3 つまで選択）

「福利厚生」、「休暇の取りやすさ」、「賃金引き上げ」の順となっています。過去に実施した「働き方改革」に関する設問と比較すると、「賃金引き上げ」が大幅に減少しています。各企業の初任給引き上げにより給与水準に納得しており、「福利厚生」、「休暇の取りやすさ」など職場環境を重視する傾向がみられます。

